



甲府市立東小学校

東小たより

令和5年度 1月号 校長 饗場 宏

上の写真は左から、4年：書き初め、大谷選手からのメッセージ、1年：生活科の様子です。

改めて当たり前に感謝する日々 当たり前のありがたさ 地域とともにある東小学校

新年を迎え、和やかな雰囲気にも包まれるべき元旦、そんな気持ちを打ち砕くかのように大地震が発生しました。「お正月といえば…」という常識が、被災地には全く当てはまらないということをニュース映像は突きつけました。ウクライナやガザ地区での状況も、明るい未来を信じている子ども達にどう説明することができるのでしょうか。

もし伝えるとしたら、今、自分たちが享受している当たり前の日常こそ、ありがたいもの、貴重なものであるということではないでしょうか。始業式の校長の話では、黙祷の後、「友達、家族、先生、家、食事、トイレ、洋服、学校、電気、水…。身の回りの人たちや物事が、いること・あることを『当たり前』ではなく、『ありがとう』という気持ちをもって生活していこう。」と伝えました。

これからも、当たり前を当然と思わず、当たり前は「有り難い」ことだと考え方を切り替え、当たり前を大切にしながら、さらにより当たり前を創っていこうと児童に伝えていきたいと思えます。

さて、本校の児童会でも被災地に少しでも心を寄せたいという気持ちから、募金活動を行いました。被害に遭われて苦しんでいる方々の一助になればという児童の願いにつきまして、ご理解をいただきありがとうございます。東小から被災地の皆様に、お見舞いの気持ちを込めておくりたいと願います。

「スグル」の状況報告

「スグル」を本格導入して10カ月が経ちました。途中経過ですが、現在の状況について報告いたします。

- 獲得ポイント：約17,000ポイント
⇒学校委員会の承認を得て学用品に交換します。
- 使用した紙の枚数：約20%削減
※前年の同期間と比較

ビッグエピソード



大谷翔平選手から全国の小学校に贈られたグローブが本校にも届きました。このグローブに込められた大谷選手からのメッセージが児童に伝わり、さらにスポーツに親しもうとする意欲が高まることを期待しています。

1月22日は、本校の創立記念日です。1958(昭和33)年に開校した当時の児童数は760名だったそうです。現在は312名ですから、人口減少という社会状況を垣間見るようです。東小創立にあたっては、地域の皆さまには、多大なご尽力や湯田小学校からの「分離」に伴う厚いご理解をいただいたものと拝察します。こうした先達のご苦労・想いに心を寄せて、地域の皆さまや卒業生、児童の心につつまでも残る学校であり続けたいと思えます。



1969(昭和44)年の東小学校

なお、開校時の様子は昨年度の本紙(1月号)でお伝えしましたので、よろしければご覧ください。 [※こちらからご覧いただけます](#) ⇒

子供たちの笑顔のため、地域やご家庭の皆さまとともに、児童の健やかな成長を期す「地域とともにある学校」を創り上げていきたいと思えます。本校教育活動への変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

